



交流分析の構造分析から脚本分析への発展



講師：江花 昭一 氏



神奈川大学保健管理センター長・日本交流分析学会 理事長

今回の研修会では、エリック・バーンの構造分析から脚本分析への理論の発展について、バーンの生涯と対比させることによって、これまでにない切り口でその理論の本質と魅力に迫ります。

バーン死後、機能性を重視するエゴグラムや再決断療法など、「米国流のTA」が主流になりました。バーン自身は、「非ユダヤ的ユダヤ人」として米国文化を超えた理論を追求していましたが、それは必ずしも受け継がれませんでした。一方、日本では機能性重視の視点を受け入れながらも、Aと同時にC（特にFC）へのストロークが尊重されるなど、米国流とは異なる展開が図られました。現代においては非常に意味があることと再評価できます。今回は、ぜひ交流分析の源流に触れ、より深い理解へとつなげてください。

◆講師略歴◆

福島県喜多方市生まれ

東北大学医学部卒業、医学博士 日本大学医学部第一内科助手、

東松山市立病院内科医長、横浜労災病院心療内科部長を経て現職

日本自律訓練学会理事・日本心身医学会理事・日本心療内科学会理事



【日 時】平成 29 年 12 月 2 日(土) 12:00~17:00

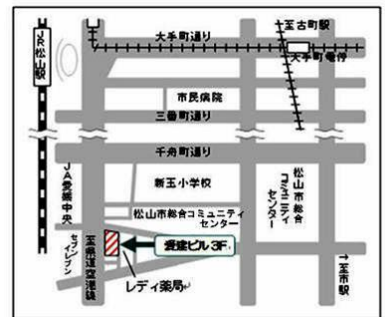
【会 場】愛媛県松山市湊町八丁目 111 番地 1 愛建ビル 5 階 研修室 3

【参加費】会員価格：7,000円（非会員 8,000円）

【振込先】郵便振替口座番号：00110-1-155513

口座名：特定非営利活動法人 日本交流分析協会

※銀行からの送金 【店名】〇一九【預金種目】当座預金【口座番号】0155513



講座終了後、同会場にて四国支部“忘年会”を行います(参加費:1,500円)

こちら是非ふるってご参加ください!! ※参加費は当日お支払いください

【お申込み・お問い合わせ】特定非営利活動法人 日本交流分析協会・四国支部

〒790-0012 松山市湊町 8 丁目 111 番地 1 愛建ビル 3 階

TEL/FAX: 089-931-5570

Mail: info@ta-shikoku.com



平成 29 年度 理論講座 「交流分析の構造分析から脚本分析への発展」参加申込書

※ 忘年会への参加 する【参加費は当日徴収】 しない

ふりがな お名前		住所	
TEL			
FAX		Mail	